

20歳から 子宮頸がん検診

若い世代でも子宮頸がんにかかる方が増えています



防府市健康増進課(保健センター)

〒747-0805 防府市鞠生町 12 番 1 号

TEL 0835-24-2161 FAX 0835-25-4963

子宮頸がん検診の流れ

Step 1 集団検診(検診車)もしくは医療機関を選択

Step 2

**集団検診(検診車)
で受診を希望する**

☎保健センターに電話予約または
オンライン予約
(0835)24-2161
申込フォーム➡

**医療機関
で受診を希望する**

☎実施医療機関に直接予約

右記リストを
ご覧ください。

Step 3  **受診(問診・視診・内診・細胞診)**

検査時間は15分程度。痛みはあまりありません。
※子宮頸がん検診は生理日以外で受診してください

Step 4  **市から届く結果を確認する(約1か月後)。**

実施医療機関一覧	電話番号
アベ産婦人科クリニック	0835-22-0385
おがさまレディースクリニック	0835-26-1107
手山産婦人科	0835-22-0188
山口県立総合医療センター	0835-22-4411
阿知須共立病院(山口市)	0836-65-2711

※ 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

受診曜日や時間帯、女性医師による検診の提供など、詳細は各医療機関にお問い合わせの上、ご都合にあった医療機関に直接ご予約ください。

第2.0版

今年度は、防府市から約7,000円の助成[※]があります！

防府市では、がん検診の受診促進を目的として、下記の方を対象に、同封している「がん検診無料クーポン券」を配布しています。今年度対象となる平成17年度生まれの女性は、このクーポン券を利用すると無料で市の子宮頸がん検診が受けられます。あなたの健康のために、がんを早期に発見し、早期に治療できるよう、がん検診を受けてください。

今年度の無料クーポン券対象の方

平成17年(2005)年4月2日～

平成18年(2006)年4月1日生まれ的女性

※令和8年4月20日現在、防府市に住民票のある女性

検査費用 約7,000円

— 助成金 約7,000円

自己負担金 0円^{無料!}

子宮頸がん検診は助成がない場合、約7,000円と高価な検査です。ぜひこの機会に受診しましょう。

無料クーポン券の有効期限は

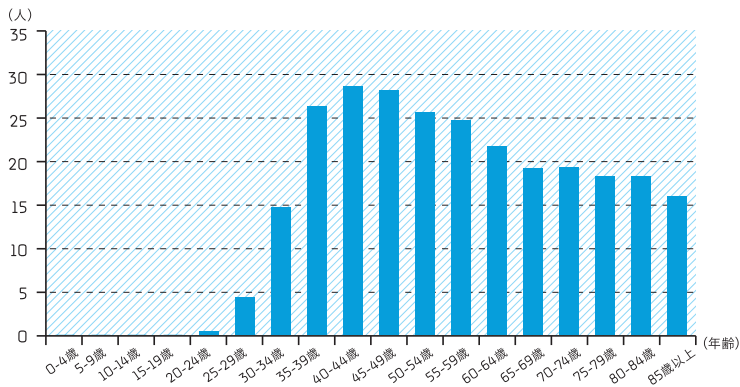
令和9年3月31日まで

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください。

※現金が支給されるわけではありません。

子宮頸がんは、20代後半以降から増え、特に30～40歳代の女性で近年増加傾向にあるがんです。

子宮頸がん年齢別罹患率(10万人対)^{※1}



早期のうちほとんど
自覚症状がありません。

「特に異常はないから大丈夫」そう思っていないか？
子宮頸がんは感染から発症まで、平均5-10年かかり、
早期には自覚症状がないため、
「異常を感じたら」では手遅れになる場合があります。

※1 出典：全国がん登録 全国がん罹患データ（2021年）

子宮頸がん検診ってどんな検査？

検査時間は数分程度。痛みはそれほどありません。

1. 医師による診察
2. 細胞診



小さなブラシなどで
子宮の入り口を軽く
こすって細胞を採取

検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を受けてください。^{※2}
精密検査はコルポスコープ下の組織診・細胞診・HPV検査などを組み合わせて行います。

※2 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけれない場合もあります。

子宮頸がんはHPV(ヒトパピローマウイルス)への感染がきっかけとなります。感染してもほとんどの場合は一過性ですが、ごく一部の人で感染が継続し、長時間を経てがんになっていることがあります。

注) HPVは、一度でも性交渉の経験があれば感染している可能性があります。

子宮頸がんは、早期のがん^{※3}の段階で治療すれば、
90%以上が治ります。^{※4}

子宮頸がんでは子宮摘出手術が必要となりますが、早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治療できる場合もあるため、妊娠・出産も可能です。検診を受け早期発見・治療することにより、がんになるリスクや死亡リスクが減少します。

生存率

I期(早期がん)

94.9%

IV期(進行がん)

25.5%

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、月経(生理)以外に出血がある、月経が不規則などの症状がある場合は次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

子宮頸がん検診は
2年に1度 必ず
受診してください



※3 ここでいう「早期」とは、がんの進行度を0～IV期に区分した病期分類(TNM分類)におけるI期を意味します。(IV期に近いほどがんが進行している状態です)

※4 ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。
出典：2014-2015年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル(純生存率)

このリーフレットは、がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト>が作成しました。